

K-2 : 教育プログラム

開催日時・会場 9月20日（木曜日） 9:00-10:30 405(4階)

プレアワード業務の俯瞰と実践

本セッションは、「プレアワード」をテーマとし、初級(着任直後から3年程度)の研究・アドミニストレーター(以下「URA」という)を対象とした教育セッションです。RA協議会スキルプログラム専門委員会が実施を担当します。本セッションは座学講義で行われます。

URAが研究支援活動を行う上で外部資金獲得支援に関わる基礎知識が必要不可欠です。本セッションでは、その基礎知識を俯瞰的に解説するとともに、プレアワード業務を広く捉え、様々なタイプの支援活動が考えられることを、実例を用いて示します。

大学の運営費交付金が減り続ける中で、研究者にとって、研究活動を継続するために外部資金を獲得する重要性は言うまでもありません。しかし、大学の研究者は様々な外部資金に応募するために、相当の研究時間を割かなければなりません。研究者が研究活動に集中しつつ、適切な情報を得て適切なタイミングで応募できるよう、URAが的確かつ有効に研究者の外部資金獲得を支援することが重要です。URAの支援活動に必要な基礎知識及びスキルを習得するとともに、研究者や研究プロジェクトのタイプやフェーズにあわせて適切な支援を行うこと、また種々の支援活動をどのように組み合わせると効果的な外部資金獲得に繋がるのかを考える機会にさせていただくことが、本セッションの狙いです。

具体的には、本セッションでは、外部資金の制度の基礎知識及び外部資金情報の収集・分析・発信、プロジェクトの企画立案支援、申請資料の作成支援など一連の業務内容、さらに業務の中でURAの真価を発揮するポイントについて、実例に基づいて解説します。これらの基礎知識を広く理解し、ポイントを把握することを通して、外部資金獲得がより効果的に行われること、ひいては、URAが研究力の向上に貢献することを目指します。

オーガナイザー



王 鴻香:長崎大学・研究開発推進機構・主任URA

北京大学化学系卒。同大学院修了。理学博士。2014年4月にURAへ転身するまでの20年以上、日本の大学、研究所や企業で、吸着技術を利用した化学装置の開発、新規無機吸着剤の合成の研究に携わりました。現在は、外部資金獲得支援、研究力分析、若手研究者支援に活動中。

講演者



橋爪 寛: 京都大学・学術研究支援室・主任URA

金沢大学工学部卒。北海道大学大学院地球環境科学研究科修了。博士(地球環境科学)。米航空宇宙局ジェット推進研究所のポスドク研究員やJST CREST研究員として、衛星データを用いた大気海洋相互作用の研究等に従事。その後、東北大学大学院医学系研究科修了。博士(医学)。同大学加齢医学研究所にて小児脳発達研究に従事。2014年から京都大学学術研究支援室URAとして、外部資金獲得支援、研究IR、同室研修プログラムを担当。